

業新聞

in Metal Bulletin

2023年(令和5年)

3月16日(木)

第20644号

Since 1936

発行所 産業新聞社

東京本社 東京都中央区新川1-16-14
錦糸町(非鉄)TEL 03(5566)8772
FAX 03(5566)8182
総務販売部(購読・配達)TEL 03(5566)8778
FAX 03(5566)8185大阪本社 大阪市西区阿波座1-3-15
TEL 06(7733)7001 FAX 06(7733)7070
アジア総局 上海市崇明区閔行路85号 東方国際大酒店1604室
上海支局 TEL 86-21-6278-7750 FAX 86-21-6278-7751

流出する鉛

(上)

◆ 増える違法業者
「巣鉛が輸出されて
いるらしい」——市場
関係者の間でさざやか
に始められたのは2022
年の秋ごろだった。巣鉛
は自動車用の廃
バッテリー(使用済み
鉛蓄電池)を切断解体
して取り出した鉛極板
のスクラップ。橙子状
の形がミツバチの巣箱
に似ているので、その
名前が付いたともい
う。ただし、鉛には電
解液の硫酸がしみ込ん
でおり、認可業者のも
とで厳重に解体・管理
されなければならな
い。二次精錬メーカー
の解体業者から二次精
錬メーカーに直送され
るため、あまり市中で
流通することもない
が、それが輸出されて

正体不明の「鉛くず」



巣鉛(環境省HPの注意喚起へ集
鉛の輸出入について)より

22年3倍、1000トン超高水準続く

巣鉛の違法輸出横行か

いるという。

廻はまたたく間に広
がり、大阪府南部、北
陸、北関東などで違法
解体を行っているとみ
られる中国系業者が、
関係者の間で特定され
るようになつた。これ

らの業者の特徴として
は①解体ヤードを頻繁
に移動させる②ヤード
への直接持ち込み不可
で外部で引き取りを行
う③取扱量は中小規模
——などが挙げられ
る。②についてはコン

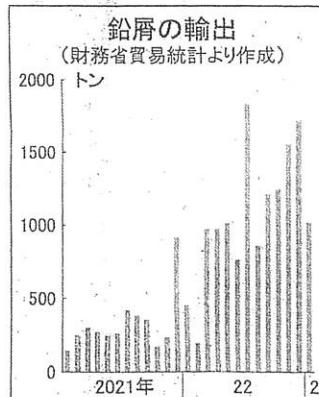
エック能力などの情報
を共有し合つていると
いわれ、地方税闇のチ
ーク力なども想定され
る。居場所が固定せず規
模も小さいため、こう
した違法輸出業者は自
身の異変が起き
たらず足がつきにく
い。そのため地下では
業者数が増えていると
いわれる。地方税闇のチ
ーク力なども想定され
る。

一般的な鉛屑いわゆ
る鉛スクラップと言え
ば、再生鉛1号・特号
の再溶解用原料となる
「上鉛」の鉛管、鉛遮
蔽板、鉛ケーブル、さら
には「雑鉛」として
ウエット、生け花用剣
山、釣り具用ルアー、そ
の他の未選別品など

は前年比3倍増の1万
000トンを突破してい
る。22年の年間輸出量
は前年比5カ月連続で1
9.71トント。これは明
らかに従来の鉛スクラ
ップの輸出内容が変わ
ったことを示してい

たとみられる。

◆ 国内外で価格差
さて、問題はマレー
シアとパキスタンにキ
ロ1430~1520円で
輸出された8000トント
の「雑鉛」が国内に
滞留していたため、海
外放出されたとの見方
もあり、低品位の「雑
鉛」がそのまま高値
で輸出されるることは考
えにくい。



輸出先の主な内訳は
マレーシア6100トント
(輸出平均価格キロ1
43円)、パキスタン2
2833トント(キロ1
韓国1271トント(キロ
0円)、インド1022
トント(キロ1円)、ベトナ
ム7267トント(キロ1
円)。ここから氣付く
のは、輸出単価の差がマ
レーシアと韓国では1
00円近く開きがあり
はつきり一分され
て急増したのだ。

一般的な鉛屑いわゆ
る鉛スクラップと言え
ば、再生鉛1号・特号
の再溶解用原料となる
「上鉛」の鉛管、鉛遮
蔽板、鉛ケーブル、さら
には「雑鉛」として
ウエット、生け花用剣
山、釣り具用ルアー、そ
の他の未選別品など

は前年比3倍増の1万
000トンを突破してい
る。22年の年間輸出量
は前年比5カ月連続で1
9.71トント。これは明
らかに従来の鉛スクラ
ップの輸出内容が変わ
ったことを示してい

たとみられる。

さて、問題はマレー
シアとパキスタンにキ
ロ1430~1520円で
輸出された8000トント
の「雑鉛」が国内に
滞留していたため、海
外放出されたとの見方
もあり、低品位の「雑
鉛」がそのまま高値
で輸出されるることは考
えにくい。

ある二次精錬メーカー
の関係者は「今のが地
金に対する廃バッテリー
の適正価格は70~80円
である。二次精錬メーカー
が解体業者から二次精
錬メーカーに直送され
るため、あまり市中で
流通することもない
が、それが輸出されて

くるらいたと思うが、
際は20~30円安く調達
できてしまう。違法業
者ははこに目をつけ
て、高値で売る
海外に輸出して利ザヤ
を稼いでいる」と指摘
する。鉛リサイクル原
料の国内外価格差が違
法業者の横行を生んだ
といわれている。

ビニ駐車場を受け渡し
場所に指定し、解体ヤ
ードの場所が分からな
いようにする業者もあ
るようだ。(3)も月に數
ヶ所から扱つてい
るといわれている。

二駐車場を受け渡し
場所が固定せず規
模も小さいため、こう
した違法輸出業者は自
身の異変が起き
たらず足がつきにく
い。そのため地下では
業者数が増えていると
いわれる。地方税闇のチ
ーク力なども想定され
る。

一般的な鉛屑いわゆ
る鉛スクラップと言え
ば、再生鉛1号・特号
の再溶解用原料となる
「上鉛」の鉛管、鉛遮
蔽板、鉛ケーブル、さら
には「雑鉛」として
ウエット、生け花用剣
山、釣り具用ルアー、そ
の他の未選別品など

は前年比3倍増の1万
000トンを突破してい
る。22年の年間輸出量
は前年比5カ月連続で1
9.71トント。これは明
らかに従来の鉛スクラ
ップの輸出内容が変わ
ったことを示してい

たとみられる。

さて、問題はマレー
シアとパキスタンにキ
ロ1430~1520円で
輸出された8000トント
の「雑鉛」が国内に
滞留していたため、海
外放出されたとの見方
もあり、低品位の「雑
鉛」がそのまま高値
で輸出されるることは考
えにくい。

ある二次精錬メーカー
の関係者は「今のが地
金に対する廃バッテリー
の適正価格は70~80円
である。二次精錬メーカー
が解体業者から二次精
錬メーカーに直送され
るため、あまり市中で
流通することもない
が、それが輸出されて